

# おお大勝利

令和5年度 山東サッカー部報第1号 (4月18日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 入学おめでとうございます 入部歓迎します

早いもので新年度が始まり、4月8日の入学式を迎えました。新入生の皆さん、山形中學校から数え**来年で140周年**を迎える伝統ある山形東高校へのご入学、誠におめでとうございます。**学習や部活動に探究活動と、三兎以上追っている山東**ですから、充実且つ忙しい日々がこれから待っています。大変かと思いますが、その中での自らの成長を楽しんでほしいものです。

そして、サッカー部への入部ありがとうございます。歓迎いたします。本日18日が部登録集会となります。山東サッカー部では、一生懸命サッカーに打ち込む環境が揃っています。それをどれだけ生かすかは、自分次第です。週5の活動はそこそこ大変ですが、後の記事にあるように、**部員には文武両道の校是をしっかりと守っている者が多い**です。山東サッカー部で、サッカー選手としても、高校生としても、人間としても、成長して行ってください。

## 充実の春期福島Jヴィレッジ遠征

3月24日～26日の日程で、福島県のJヴィレッジにて「**安積サッカーフェスティバル**」がございまして、参加してきました。この交流大会は、安積高校顧問にして福島県高体連委員長も務める**小林先生**のお人柄を慕い、東北を中心に高校が集まって実施された。山東は、過去2年ほどエントリーはしたものの、いずれもコロナの影響でキャンセルせざるを得なかった。今年は3度目の正直。新2年生理数探究科志望生徒の「つくば研修」と最終日に重なってしまうという問題もありましたが、保護者の方のご配慮により、両立できる形で参加できて、本当に良かったです。

AとBの2チームエントリーするためには、選手22名はギリギリなので、卒業生のグループラインに参加を募ると、**東北大学4年の馬場くん**と**千葉大学3年の奥山くん**、そして、**東北大学1年の矢吹くん**と**金沢大学への入学を決めた村山くん**の計4名が参加してくれた<sup>1</sup>。協力をお願いするとすぐ応じてくれるOBがいるのが、本当に心強い。そういうOBを見て、現役生も将来の役割を学ぶことができる。また、このOB4名は選手としてもすぐれているため、Bの中心として躍動。村山くんは自ら副審を買って出ることの方が多かったが、いずれにせよ、選手としてもアドバイザーとしても、現役生のために一肌脱いでくれた。4名、ありがとう！そして、こちらもOBではありますが、**佐竹コーチ**と**高橋コーチ**が仕事を投げうって？帯同してくれました。夏の秋田遠征程ではないですが、高

<sup>1</sup> この4名は、同期のペアです。山東では入れ替わりになります。馬場くんと奥山くんには、現在弟が在籍しています（事情により馬場くんの弟の苗字は異なっています）。

橋コーチには B の試合に出場もしてもらいました。スタッフや OB など、充実の指導陣が組まれている選手の環境は、実にうらやましい<sup>2</sup>。

戦いですが、A は岩手県 1 部在籍のチームに逆転勝ちするなど、選手は**予想していた以上に健闘**した。そして、遠征を通じて、**チームの団結**が生み出され、**選手同士の理解**が進んだ（もちろんスタッフの選手理解も）。勝って自信をつけた試合もあれば、不甲斐ない戦いで現在地を見つめ直さざるを得なかった試合もあり、どちらもシーズンインを前にして良いレッスンとなった。B は OB に支えられたところが大きかったが、**夏よりも声を出す選手が増えてきた**とは感じる。自分たちの試合を自分たちで何とかしようという雰囲気、夏には少なすぎましたからね。上手い下手の前に、連携面も含めてまずは一生懸命やれているかが大切。その点で、B にも明るい材料はあった。確か、試合は全敗だったと思いますが、**左の大砲を備え始めた 3 年サカイ**や、**乗馬で鍛えた体幹でドリブルしまくる 3 年ヨシモト**の得点では、ベンチが大きく盛り上がりました。

参加してくれたスタッフ・OB、協力くださいました保護者の皆様、大会運営してくれました小林先生始め福島県の方々、ありがとうございました！

## Y2B 第 1 節 山形中央 B 戦を落とす

4 月 16 日（日）、県リーグ 2 部 B ブロック第 1 節山形中央 B 戦が山形明正高校会場にて行われました。山東は今期 2 部への昇格組。とはいえ、2 年前までは 2 部の常連（1 部にも複数回昇格しているチーム）ですので、復帰という感が強い。山形中央 B は、良く調べていませんが、去年は途中まで 2 部で全勝だったはず。去年は 1 部在籍の A との戦力差の小さなチームだった。今年も、大きく力を落としているとは考えられない。すなわち、第 1 節、早くも山東は難しい相手を迎えたことになる。

ただし、山東にも好材料はある。上で書いたように、福島 J ヴィレッジ遠征でチーム力の向上を感じることができて、自信をもって新シーズンを迎えている。また、新生が早くもレギュラー争いに絡み、この試合では 2 人が先発で出場。一人は、ジェラール出身、身長 186cm と文字通り「大型新人」**FW リューヤ**、もう一人は、モンテディオ JY 村山出身、同じく身長 180cm 越えの**ポランチタケハル**。タケハルは、福島遠征に参加してくれた馬場くんや奥山くんの一つ上の**OB 大誠くんの弟**。この大型補強により、チーム力が確実に高まった。さあ、初戦どうなるか。**後藤報道局長**が都合により取材にいらっしやることができなかったのが残念だった（マネージャーが撮った写真が HP に載るかも）。

さて、試合が始まると、山東はまずは割り切って前線へのダイレクトな攻撃を繰り返す。一人はリューヤだし、もう一人の**FW 2 年ソータ**も 170 台の後半はある。左 SH の**2 年シヨゴ**はリューヤと同じく 186cm あるから、パワフルな攻撃をしたときの山東の迫力は結構ある。良い入りをしたのは山東だった。ロングボールをヘディングで競り勝ったボールが相手 CB と GK の間に落ち、そこで、相手のクリアミス？というかクリアを体に当てて、跳ね返ったボールを**シヨゴが押し込み、前半序盤で山東先制**。どんな形でも 1 点は 1 点。こういう得点は何ら恥じる必要がなく、こういう得点しか得られないとしたら反省しなければならない。とにかく、序盤、山東はしっかりやるべきことをやった。もちろんこれから長いので、「守り切る」などの発想は不要（というか、相当な守備力がない限り「守り」

<sup>2</sup> 自分の選手時代と比べると、圧倒的に恵まれた環境だと思います。

に入って守り切れるものではない)。2点目を取りに行く。前半、序盤の蹴り合いを過ぎても山東の攻撃は単発気味ではあったが、「良いフィニッシュだったら可能性があった」と思わせるシュートがあった。逆に、攻撃が単発というか、攻撃の途中であまりにもボールを失うことが多いので(ボールポゼッションがあまりにもできないので)、相手の攻撃の時間の方が長かった。山形中央BもまずはDFの裏を狙うダイナミックな攻撃が多かったので、予期した山東CBが何とか対処することができた。ただ、しっかり人数をかけて守っても、**クリアが短くそして中に(内に)入るものだから、何度も相手のシュートを浴びる**。ゴール前に人数をかけているので、GKまで行かず、FPの体に当たるシーンがメチャクチャ多い。何とか凌げるかと思われた前半終了間際、FKを与え、その直接だったか、流れの中だったか、ともかくGK正面に飛んだボールをGKがキャッチし損ねたところを狙われ、**失点**。もったいない失点ではあったが、**FK自体、不要だったし、CKも含め、相手にセッTFレーを与え過ぎた**。

後半は、前半よりも山東の決定機が少なかった気がする。相変わらず、山形中央の選手のシュートが山東FPに当たるシーンが多い。それだけ体を張って守っているとも言えるが、結局、**一試合を通じてCK17本、FKもたびたび与えているから、そこでこぼれたボールを打たれる、でも山東の選手は守りで集結しているから誰かしらの体に当たる**、ということだと思われる。CKの流れの中で、中央の守りが乱れ、押し込まれて失点し、**逆転を許す**。すぐさま山東も攻撃に転じて、FKを得た。相手ゴールを見てペナ外の左側、すなわち、右利きの選手が決めやすい「デルピエロゾーン」でのFK。蹴る球が自然に無回転ボールになり、パスを受ける選手には迷惑なキックをする**3年右SBマサツナ**は、その短所を長所に換えるべく、冬期間FKの練習をしてきた(はず)。ベンチからは「マサツナ、行けるんじゃないか」との声も出たが、「人が見てるといいキック行きません」と言って断っている。「なんだそりゃ」と軽い落胆を覚え、そして、ボールをセットし始めた**3年左SBユーゲン**に対して、「お前の可能性のあるFK見たことないぞ」などと内心思っただけで軽視していたら・・・ユーゲン、まさにデルピエロのごとく、逆サイドの上へ巻く右足のFKを放つ。山形中央のGKが素晴らしい対応をして、弾くものの、それを**マサツナが押し込み、同点**。いやあ、**監督の予想を良い意味で裏切る選手の活躍**はうれしいものです。とまあ、スコアは同点にしたが、前半から言えましたがますます中盤でのディフェンスがルーズになり、相手に良い縦パスを許すようになったし、後ろでもボールを取り切れず突いて、簡単にCKにすることが多い。後半の後半、山東と逆側、角度としてはあまり良くないペナルティエリアの短い辺の外でFKを与えてしまう。すると、相手の左利きの良いキッカーに直接ぶち込まれてしまい、再逆転を許す。**3年GKコースケ**には表現悪いが、「今日のコースケ」では取れるボールじゃなかった<sup>3</sup>。コースケは第2節に向けて(メンタル的にも)立て直すしかない。

結局、試合はそのまま2対3で敗れ、2部復帰戦を勝利で飾ることができず。1試合を通じて言えること、なぜあれほどFK、CKを与えたのか。特に、CK17本は相手の事情はあったとしても与え過ぎ。**ボールを奪いきるディフェンス、逃げるにしても少しでも前方にボールを逃げる当たり前のクリアができなかった**<sup>4</sup>。攻撃では、DFは怖がってボールを受けに行けず、MF・FWはボールを簡単に失うシーンやパスをずらすシーンが多く、恵まれたフィジカルを活かすことができなかった。課題は多く感じました。応援ありがとうございました。

<sup>3</sup> ポテンシャル的には弾けたと思います。

<sup>4</sup> 体を入れ合うスクリーン攻防の練習は結構積んだと思うのですが、まだまだでしたね。

ざいました。すぐ今週末に第2節が迫っています。応援よろしくお願ひします。

**4月23日(日) 米沢中央B戦 12:00キックオフ @山形中央高校**

# 大学入試結果確定版！

今年もサッカー部員（現浪合わせ）の進学先を公開します。ここ数年憤慨していることに、どうやら塾関係者を主として、山東の運動部に対して、「〇〇部に入ったら勉強できなくなるぞ」などの情報を流している模様。サッカー部はその〇〇の筆頭といったところ。「勉強が大切な山東で〇〇部に入ったら終わり」などの言葉を流し、勉強中心の生活をさせ塾にも通わせる、といったところか。そうしたデマを真に受けてしまう生徒・保護者もいるのが事実。サッカー部への入部を迷った生徒（マネージャー希望）の親が、「大学諦めるの！」と娘に迫り、入部を止めさせたなんてことも〇年前にありました。いわゆる**風評被害に合っている**のです。「だったら、**サッカー部員がいかに文武両道を実践しているか**、進学実績を公開して、風評に対抗してやろう」との思いから、今年も公開。

## 【国公立】

東京大学	文科Ⅰ類	1名
	文科Ⅲ類	1名
東北大学	理学部	1名
	工学部	2名
山形大学	医学部医学科	1名
金沢大学	理工学域	1名
	理系一括	2名
埼玉大学	工学部	1名
横浜市立大学	国際商学部	1名

## 【私立】

慶應大学	商学部	1名
東北医科薬科大学	医学科	1名
東北学院大学	文学部	1名

いかがですか。みんな頑張ったのですが、今年度で山東18年目の私でも、サッカー部から現役で2名東大に合格した年はない（昨年も東大2名合格でしたが、現浪合わせ2名でした）。現役だけがすべて、東大だけがすべてではもちろんありませんが、いかに山東サッカー部員が文武両道を果たしているかはよく示せる数字だと思うのです。山東サッカー部諸君、誤った風評をしっかりと跳ね除け、「国家の運命雄雄しく負わん」（校歌3番）という王道を歩み続けましょう。そのためには**現役生諸君、しっかり勉強もやりなさいね**。